



## てんかんセンター巡り 第8回

# 東京都立神経病院 脳神経外科 てんかん総合治療センター

### 施設概要

住 所 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1  
電 話 042-323-5110  
ホームページ <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/>

日本てんかん学会専門医の人数 脳外科1人

外来を予約される場合、東京都立神経病院は外来診療を多摩総合医療センター、および小児総合医療センターで行っています。初めて受診される場合は現在おかけの医療機関の診療情報提供書をご準備いただき、下記「予約センター」までお電話ください。

- ◆ 成人（16歳以上）の方は、多摩総合医療センター外来予約センター（042-323-9200）  
・森野の外来は火曜日と木曜日
- ◆ 小児（15歳以下）の方は、小児総合医療センター外来予約センター（042-312-8200）  
・森野の外来は火曜日

### 当センターの特徴

2012年から3年連続で日本一のてんかん手術治療数を残すことができ、2014年8月1日に東京都立神経病院にてんかん総合治療センターを開設しました。てんかんの治療は、抗てんかん薬の内服で発作を抑制

するのが一般的ですが、難治性てんかんの中には、側頭葉てんかんなどの外科治療が有効な例も存在します。しかしながら、機能外科である「てんかんの外科治療」は、脳腫瘍や脳血管障害と違い、脳神経外科領域の中でも一番、合併症を出すことが許されない分野であることは事実です。このため、て



**JEPICA**  
Japan Epilepsy Center Association  
全国てんかんセンター協議会

んかんの診断、手術適応の決定については、非常に慎重に討議を重ねています。神経内科医、小児神経内科医、神経精神科医を含めたてんかん症例の治療検討会も定期的開催しています。



てんかんセンター内の勉強会風景

てんかん患者さんは幼少時から、発作のために周囲から差別・偏見をもたれ、結婚・就職などの大きな舞台に上がれず、よりよい人生を送れない人が多くみられます。また性格変化を伴うことがあるので、その治療においては発作抑制のみならず、心のケアも非常に大切です。そのため、てんかん治療に興味をもつ看護師を中心とした、「てんかん患者さんの看護」に重点を置いた症例検討会も行っています。

形としては、他に例のない外科治療主体型のセンターですが、当センターでは投薬治療も積極的に行っていますので、発作が抑制できない難治性てんかん患者さんを、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

## 当センターが目指すもの

外科治療としては、最も良い手術適応になる側頭葉てんかんを408例、前頭葉てんかんを含むほかの焦点切除術を135例、全般てんかんに対する脳梁離断術、大脳半

球離断術をそれぞれ121例、13例、迷走神経刺激術は120例と、

手術経験が豊富です。特に側頭葉てんかんでは、他の施設ではあまり行われていない、脳を温存して発作焦点である海馬扁桃体のみを切除する選択的<sup>かいぼんとうたい</sup>海馬扁桃体摘出術を286例と、国内屈指の数を誇っています。さらに、海馬委縮のない記憶力(新しく体験したことを覚える能力)が温存されている側頭葉てんかんに対しては、海馬多切術という、海馬を切除することなく海馬のてんかん波を遮断する手術法を積極的に施行しています。これらの手術法は、まだ脳発達が期待できる小児例には、最善の治療法と考えます。また、言語領野や運動領野<sup>きんぽう</sup>の近傍に存在するてんかん焦点に対しては、術後に後遺症が残らないように覚醒下手術を取り入れて治療を行っています。

外科治療を主にしたてんかん臨床のみならず、看護を含めた治療のすべての面で質の高いセンター、患者さんに「この病院で治療を受けて良かった」と心から思っていただけるセンターを目指しています。(森野 道晴)

